

むことを忘れない。

広告掲載

を追いかけながら、直感を大切に楽し 活躍したいと語る大悟さん。2人は夢



内なる声に耳を傾ける 直感を大切に

社員の大悟さんが支えていた。しかし、 制作していたさと子さんは「形に残る 岐阜県の専門学校へ進学した大悟さ 芸家を目指して同じ専門学校へ。「ビ ものを作りたい」と突然思い立ち、陶 ビッときた」という出会いが、その後の ん。一方、東京の広告会社でCMなどを 人生を共に歩ませることになった。 結婚後は、陶芸家のさと子さんを会 高校卒業後、陶芸を学ぶために地

めてもらえると自信につながる」。 移住し、陶芸教室を創業した。 組み合わせにはいつも驚かされる。自 在で、「育ててもらっている」と話す2 分の作品に迷いがあるとき、作品を誉 **八。「生徒さんの考えるデザインや色の** 教室の生徒さんは仲間のような存

る」と、さと子さんの実家がある津市ヘ その後、「この場所に呼ばれた気がす 幸せとは何かを考えての決断だった。 道を歩むことを決意。家族にとっての 子どもが生まれたとき、自らも陶芸の

工房では陶芸教室の他、ガラス細工

"わくわく"が共有できる 陶芸教室でありたい

アジア進出のため 人のおすすめは 中国語を勉強中 -度試してみる 悟 (28)(37)

や革靴などの作家を招いて一緒に作品

多くの人と共有したいと話すさと子さ るときのわくわくした気持ちをもっと を作るワークショップも行う。ものを作

ん。作家として個展を開くなど幅広く

PROFILE

2017年6月、栄町一丁目に「小さな陶芸教室 安藤屋」を プン。店舗は、幼稚園として使われていた古い建物を リフォームしたもの。お気に入りは、ゆらぎのある大きな窓 ガラス。市内のカフェや東京のアパレル会社などから仕 事の依頼が後を絶たない。

夜間。土日祝相談可(要予約) 広告 -年中、子ともが素足で遊びまわれる住まい。広告 ニバーサルホーム 津店 津駅 0.5分 059-223-7001 津市垂水261-1 中日新聞津ハウジングセン 営/9:30-17:30 休/毎週火曜日・水曜日 🔐 松阪駅·名古屋駅·豊田市駅·岐阜駅·東京駅近< 🛍 市財政収入の一部に寄与することを目的とし、裏表紙に広告を掲載しています。なお、掲載している広告内容については津市が保証しているものではありません

広報つ!

毎月1日・16日発行

●編集·発行 津市政策財務部広報課 T514-8611 西丸之内23-1 **Q**059-229-3111

M059-229-3339

●印刷 寿印刷工業株式会社